

## 生出（おいで）神社

この神社は、近隣にそびえる生出山にちなんで命名されました。その山で起きた不思議な出来事が、神社を建てた理由となりました。伝説によると、西暦 703 年、村人たちは毎晩そこに登場する奇妙な光を調べるために、山頂に上り、光源を探していました、すると、龍の形をした岩の近くに男が現れ、そこに神社を建てると村に静けさがもたらされると告げました。村人たちはその男の助言に従い神社を建てましたが、後の 929 年に、山麓の現在の場所に神社を移動しました。

現在の建物は、1768 年に江戸（現在の東京）の数名の職人によって建設されましたが、構造はもととの建物よりも、柱を除き、小さくなりました。その表面のすべての部分に、非常に精密な彫刻が施されています。19 世紀初頭にはこのような神社が一般的でしたが、この地域では、生出神社が、こうしたタイプの最初の神社となりました。

生出神社の主な祭は、都留市の年次祭の中で最も人気のある八朔祭（9 月 1 日）です。その日には、150 年以上前の神社の建物に彫られた絶妙な彫刻が施された生出神楽屋台は、伝統舞踊を披露しながら市街を練り歩きます。